

N17a 一般相対論的で非軸対称なコンパクト星の“平衡”形状

野澤哲生、江里口良治（東大教養）

94年春季学会で、非軸対称な回転星に関して、重力波放出の効果が小さい場合の系を定常とみなす Einstein 方程式の近似法の開発について発表したが、重力を強くすると、座標中心付近の誤差が拡大するという問題があった。今回は、この問題をほぼ解決し、中性子星程度の星まで計算が可能になったコードによる計算結果について述べる。現在、得られたモデルは、Jacobi 的な系列のものが主であるが、発表では、連星モデルの計算結果についても議論する予定である。